

「人財」でお困りなら

株式会社
ミヨシ・ロジスティックス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

題字制作：株式会社クライムエヌシーデー

KANAKEI

かながわ経済新聞

人と会社を育てる
Business Design

<http://www.business-design.co.jp/>
042-730-7886

税理士法人 うんく

2017年 1月号 Vol.037

採用からの人材教育

かながわ経済新聞 2017.1月号

吉田 英訓の
連載記事が掲載されました。

今回は「採用の仕方」についてです。まず弊社が本社を置く相模原市内の2016年10月の有効求人倍率は1・00で昨年(0・87)より上がっています。新規求人倍率は1・44で、こちらも昨年は(1・36)よりも上昇しています。

こうした数字だけでも分かりませんが、相模原(基本的に全国的には全国的に)で人員を採用していくのはとても難しい時代になってきました。

その要因としては、本連載でも以前から触れている「生産年齢人口の減少」などがあると思います。それ以外の要因としては、企業側の雇用の仕方や、働いている人の意識変化も大きく変化してきているように思えます。

以前は学校卒業後に定年まで企業に勤めていくという文化がありました。しかし、今は産業の多様化・情報のスピード化など、いくつもの例はありますが、間違いなく雇用する側・される側の考え方が幅広く自由になってきているのは事実です。

そうした状況のなかで、日本経済は2020年東京五輪まで悪くなることは考えにくく、今後も人材採用は難しいといえるでしょう。とくに中小企業には、事業の存続すら脅かす問題であると感じています。では、今後の採用はどうあるべきか。今回は人材を扱っている弊社の採用の仕方について、具体的に紹介していきたいと思えます。

(南西フォーラム委員長 / ミヨシ・ロジスティックス代表取締役)

**吉田英訓の
着眼大局 着手小局**
~人と企業~

